

平成30年8月24日(金)

【照会先】

秋田労働局職業安定部職業安定課
課長 金澤 勲
職業安定監察官 茂木 伸宏
(電話)018(883)0007 (内線102)

報道関係者 各位

ハローワークの総合評価結果及び目標数値について

－ 平成29年度評価結果・平成30年度目標設定 －

厚生労働省では、ハローワークの機能強化を図るため、従来目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施しています。

このため、秋田労働局では、平成27年4月から、①PDCAサイクルによる目標管理・業務改善、②総合評価の実施・公表による自発的業務改善・利用者の信頼性向上、③全国的な業務改善に向けた取組の強化によるハローワークの機能強化を図るため、年度当初に目標数値を設定し、事業計画の策定や実施状況の把握・分析を行い、進捗管理を行ってまいりました。

今般、平成29年度の評価結果が厚生労働省より示されましたので公表いたします。

また、同時に平成30年度における同取組の目標設定についても公表いたします。

1. 平成29年度評価結果（概要：別紙1、詳細資料：別紙3）

平成29年度 各ハローワーク別「就職支援業務報告」評価

①「非常に良好な成果」（評価類型1）

該当所なし

②「良好な成果」（評価類型2）

能代、大館、大曲、本荘、横手

③「標準的な成果」（評価類型3）

秋田、湯沢、鹿角

④「成果向上のため計画的な取り組みが必要」（評価類型4）

該当所なし

2. 平成30年度目標設定（概要：別紙1、詳細資料：別紙2）

平成30年度ハローワークのマッチング機能に関する総合評価の目標数値

「ハローワーク総合評価」の概要

1. 平成 29 年度の評価結果

(1) 秋田労働局の実施状況

項目	主要指標		
	就職件数（常用）	充足件数（常用）	雇保早期就職件数
目標値	22,300	21,020	5,000
実績	21,166	20,338	4,920
達成率	95%	97%	98%

※厚生労働省では、局単位の評価は行っていない。

(2) ハローワークの評価結果

区分	所名
1 非常に良好な成果	当局では該当なし
2 良好な成果	能代 大館 大曲 本荘 横手
3 標準的な成果	秋田 湯沢 鹿角
4 成果向上の取組必要	当局では該当なし

（男鹿、鷹巣、角館出張所は、それぞれの本所の評価に含まれる）

※求職者の減少に歯止めがかからず、各所とも求人要件緩和、求職者担当者制によるきめ細やかな就職支援、ハローワークの会議室を利用した会社説明会（ミニ面接会を兼ねる）の開催による求人充足の取組などにより、良好な成果の所が 28 年度よりも 2 所増加するなど、全ての所が標準的な成果以上の評価となりました。

2. 平成 30 年度の目標設定

(1) 秋田労働局の主要指標の目標

項目	主要指標		
	就職件数（常用）	充足件数（常用）	雇保早期就職件数
30 年度目標	20,630	19,700	4,800

ハローワーク別主要項目の目標数値等

別紙 2

秋田労働局職業安定課

1 平成29年度目標値及び実績

項目		ハローワーク別								
		秋田	能代	大館	大曲	本荘	横手	湯沢	鹿角	局計
就職件数 (常用)	29年度目標数値	8,625	1,920	2,635	2,810	2,100	2,065	1,305	840	22,300
	29年度実績	7,783	1,888	2,534	2,902	1,908	2,143	1,235	773	21,166
充足件数 (常用)	29年度目標数値	8,740	1,750	2,455	2,543	1,735	2,030	1,047	720	21,020
	29年度実績	8,127	1,751	2,361	2,736	1,570	2,160	960	673	20,338
雇用保険受給者の早期再就職件数	29年度目標数値	1,940	500	540	620	455	425	350	170	5,000
	29年度実績	1,764	515	577	641	484	484	290	165	4,920

2 平成30年6月末累計比較

項目		ハローワーク別								
		秋田	能代	大館	大曲	本荘	横手	湯沢	鹿角	局計
就職件数 (常用)	30年度目標数値	7,695	1,760	2,469	2,691	1,945	2,050	1,230	790	20,630
	実績累計	2,222	494	730	719	464	683	362	238	5,912
	前年同期比	2.2	▲ 7.7	0.6	▲ 3.4	▲ 14.1	12.7	7.7	10.2	0.6
	年度目標達成割合	28.9	28.1	29.6	26.7	23.9	33.3	29.4	30.1	28.7
充足件数 (常用)	30年度目標数値	7,960	1,615	2,300	2,500	1,620	2,070	975	660	19,700
	実績累計	2,314	465	703	635	395	677	281	191	5,661
	前年同期比	1.7	▲ 6.3	3.7	▲ 9.8	▲ 8.6	11.3	6.8	9.1	0.5
	年度目標達成割合	29.1	28.8	30.6	25.4	24.4	32.7	28.8	28.9	28.7
雇用保険受給者の早期再就職件数(5月末内容)	30年度目標数値	1,904	445	510	618	448	440	285	150	4,800
	実績累計	332	87	93	112	71	108	61	23	887
	前年同期比	110.1	93.3	66.1	143.5	153.6	390.9	221.1	53.3	128.0
	年度目標達成割合	17.4	19.6	18.2	18.1	15.8	24.5	21.4	15.3	18.5

※「雇用保険受給者の早期再就職件数」は1ヵ月遅れで集計公表。

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、新規求職者が減少傾向にあり求人企業の人材確保は困難な状況にあることから、就職件数の目標達成を最重要と考え、求職者の就職支援及び求人者の人材確保支援のため、特に、求職者に対し専任の職員が継続して再就職のためのきめ細かなサービスを行う「求職者担当者制」による就職支援を重点的に進めることとし、窓口で職業紹介を行う全職員が取り組んだ結果、求職者担当者制による支援開始者の目標数とした 1,596 人を 351 人上回る 1,947 人に対して、求人情報の提供から応募書類（履歴書、職務経歴書）の作成方法や面接対策まで計画的にマンツーマンによる支援を実施し、1,168 人を紹介就職に結び付けることができました。また、求職者担当者制により支援を行った求職者の就職率は 72.2% となり、所全体の就職率 36.4% を大幅に上回ることができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、ハローワークの職業相談等の業務において、労働基準関係法令に関する基礎知識が必要とされる場合が多いことから、労働基準監督署の職員を講師に招き、労働基準関係法令研修を実施し、業務の適正かつ円滑な運営に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 人手不足分野である介護関係職種の有効求人倍率は 2 倍超で推移していることから、人手不足に悩む求人者の人材確保支援の一環として、当所の会議室を利用して介護分野未経験者に対するセミナーを開催したほか、介護関係職種の会社説明会や面談会を開催しました。その結果、セミナーは 20 回開催・562 人参加、また、会社説明会や面談会は 9 回開催・52 人参加となり 6 人の採用に結び付けることができました。
- ・ 求職者が減少する中、人手不足の状況が続いていることから、求人情報の収集が主体の求職者に対し、求人情報提供パソコンに窓口利用を勧めるサービスメニューの案内（就職活動に関する支援内容や求人票に記載されている事項以外の情報の提供を行うなど窓口利用のメリット）表示板を設置するとともに、館内アナウンス機能を活用した職員による窓口利用呼びかけや求人検索後の声かけによる窓口の利用勧奨を行いました。また、ボイスコールの新規機器導入により待ち時間の管理を徹底し、総合案内で待ち時間表示を行うとともに、

利用者の待ち時間の短縮に努めました。併せて、管内自治体に協力を求め、自治体ホームページへ当所の各種情報の掲載を行うなど求職者の掘り起こしにも努めました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 雇用失業情勢の改善により、求人が増加する一方で求職者が減少している状況において、求人者の人手不足の解消と求職者が安定した職業に就くためには、求人者に対する人材確保支援と求職者に対する就職支援を並行してそれぞれのニーズに沿った支援を充実し、利用者サービスの向上を図る必要があることから、求人者に対し専任の職員が継続して人材確保のためのきめ細かなサービスを行う「求人担当者制」による人材確保支援や求人者に対する求職者情報の提供によるリクエスト紹介、求職者担当者制による就職支援や求人情報の提供による紹介について、求人担当と職業紹介担当との連携を強化して取り組むこととしております。

また、人手不足分野業種を中心とした会社説明会や面談会を、当所の会議室を利用して頻繁かつ柔軟に開催し、求人者と求職者の接触の機会を増やすなど、マッチング支援を強化することとしております。開催にあたっては、人手不足分野の業界団体との連携を図ります。

- ・ 雇用保険受給者の早期再就職の促進を図るため、失業認定日に職業相談窓口で、失業給付基本手当や再就職手当の支給額をシミュレーションする「雇用保険支給予定表」を活用し、早期再就職の意識啓発を行うとともに、マッチングによる求人の提案や各種求人情報一覧の提供を積極的に行うこととしております。また、求職者担当者制による求職者ニーズに応じたきめ細かな就職支援に努めます。
- ・ 平成 30 年 4 月から精神障害者の雇用の義務化に伴い、障害者法定雇用率が引き上げられたことから、障害者雇用ゼロ人事業所、新たに雇用義務の発生した事業所等の重点的な訪問などによる雇用率達成指導のほか、障害者就職面接会や障害者雇用支援セミナーを開催するなど障害者雇用の理解の促進を図るとともに、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター及び特別支援学校等と連携し、障害者の就職促進を図ることとしております。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ 生活保護受給者等の就職促進のため、管内自治体と連携し、自治体への巡回相談、一体的実施事業として秋田市役所に開設した常設窓口の活用、求職者担当者制による就職支援に取り組んだ結果、支援対象者数は 298 人で、就職件数は 191 件となり目標値に対する達成割合は 96%となりました。
- ・ 子育て女性等の就職促進のため、関係機関や自治体との連携により、ハローワークプラザアトリオンに開設されているマザーズコーナーを周知し、求職者担当者制による就職支援に取り組んだ結果、重点支援対象者は 421 人で、就職件数は 379 件、就職率は 90.0%となり目標を 0.6 ポイント上回ることができました。

- 高年齢者の就職促進のため、高年齢者向け就職活動支援セミナーを開催したほか、当所に開設した「生涯現役支援窓口（高年齢者のための就職相談窓口）」の利用を促し高年齢者の就業経験や就業ニーズに応じた就職支援に取り組んだ結果、65歳以上の支援対象者は424人で、就職件数は136件となり目標値に対する達成割合は219%となりました。平成30年度においては、より一層高年齢者の就職を促進するため、高年齢者就職面接会を当所の会議室で年2回開催することとしております。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	7,783	8,127	1,764	97.4%	96.2%	24.9%	24.5%	191	250	90.0%	1,206	136
目標	8,625	8,740	1,940	90.0%	90.0%	28.8%	25.7%	198	245	89.4%	1,307	62
目標達成率	90%	93%	91%	—	—	86%	95%	96%	102%	101%	92%	219%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク能代 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所の有効求職者数は前年同月比で2割近い減少が続き、人手不足傾向が高まる中、求職者を確保しなければ求人充足サービスに支障をきたしかねないことから、求職者の確保に重点的に取り組みました。具体的にはスーパーマーケットなどに設置していた庁舎外求人情報提供箇所へ求職申込書やインターネットを利用した求職仮登録システムのチラシも置くこととしたほか、求人情報やハローワークが開催する就職活動に関する各種セミナーの情報などを自治体ホームページにも掲載してもらうことにより、これまでハローワークを利用したことのない方々の求職申込を促進しました。この結果、平成 29 年 10 月以降は有効求職者数の前年同月比での減少幅を 5 %程度に圧縮できました。

② 利用者サービスの向上と職員の資質向上に向けた取組

所内のポスター、パンフレット類が整理しきれないまま掲示、展示され、来所者に訴える力が弱いと思われたことから、若手職員でチームを編成して見直しを行いました。整理という点では成果が見られたものの、より来所者へ訴えるためにはどういった工夫が必要かという点では不十分であったことから、平成 30 年度において継続して取り組んでまいります。

職員や相談員の要望も取り入れて、担当する業務の関連分野について研修を実施しました。職員が講師となって延べ5回実施し、同席した所長が研修修了後に講師の説明や資料作成について助言することにより、講師を務めた職員のスキルアップも同時に図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人情報提供コーナーのブースには求人情報の検索を行う利用者向けに各種の案内や説明資料を置いていましたが、職員が点検を行ったところ資料のメンテナンスが不十分な上、展示資料の種類が多過ぎてほとんど読まれていない状況となっていました。このため、利用者から直接聞き取り調査を行い配置している資料を整理するとともに、よりわかりやすく内容も変更しました。

「総合案内がややわかりにくい」、「待合席が紹介部門カウンターと正対しているため目線が合う」といった改善要望が利用者・職員の双方からあったほか、求人情報提供コーナーが正面玄関や総合案内をはさんで紹介部門の反対側にあり、相談や詳しい内容説明のため窓口へ案内しようとしてもそのまま帰ってしまいがちであるといった職員の意見もあったことから、サービス向上のためレイアウトの変更を行うこととしまし

た。レイアウト変更については若干の庁舎改修が必要となったことから平成 30 年度に着手することになりましたが、紹介部門と待合席の間のパーテーションを改良するなど、平成 29 年度中に対応可能な範囲で待合席の利用者に配慮した改善を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

有効求職者数の減少幅は縮減できましたが、人手不足の解消のためには子育て等何らかの事情で労働市場から離れている方を新規求職者として確保していく必要があることから、管内自治体とも連携して就職活動を始めるためのセミナー等を企画し、求職者の掘り起しを図っていくこととしております。

応募者が全くいないまま紹介期限を迎える求人については、求人条件の見直しなども提案しておりますが、賃金や勤務時間などの条件を変更することは求人者にとって容易ではないため、自社の特長や魅力をアピールでき、求職者が応募先のイメージを描けるような求人票の記載についての提案も行ってまいります。

人材確保のため定年年齢や定年後の継続雇用年齢の上限を超えた方の応募にも相談に応じていただける求人者が増えつつある一方で、高齢者の就職意欲も高いことから、積極的に高齢者を受け入れようとする企業に呼びかけ、高齢者歓迎求人情報を作成する予定です。また、パートタイムで就労中の方が収入増のためダブルワークを希望して求職申込みするケースがあることと、企業側もパートタイマーには兼業を認めているところが多いことから、ダブルワーク求人一覧の作成も予定しています。これらの求人情報の作成は、いずれも7月を目途にしております。

(4) その他業務運営についての分析等

管内の雇用情勢に大きな影響を与える解雇や倒産は発生しておりませんが、「木都」と呼ばれた地域でありながら木材・木製品製造業や家具・装備品製造業において事業の廃止が続いているほか、休業による雇用調整助成金の活用も目立つ状況にあるため、同業界の動向を注視してまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

平成 28 年度から作成・配付している基本手当等の「支給予定表」は、雇用保険の受給額や再就職手当の対象となる時期などをイメージしやすく、これを利用した認定日相談が雇用保険受給者の早期再就職に寄与しているものと思われま

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受領地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサ ポーター正社 員就職件数	正社員求人 件数	正社員就職 件数		
実績	1,888	1,751	515	100.0%	94.2%	18.1%	26.9%	134	4,275	852		
目標	1,920	1,750	500	90.0%	90.0%	22.1%	26.6%	95	4,100	819		
目標達成率	98%	100%	103%	—	—	82%	101%	141%	104%	104%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大館 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、大館市の経済の活性化と市民の暮らしの向上を図ることを目的に、相互に密に連携して、大館市の雇用に関する課題に取り組むため、平成 29 年 2 月に「雇用対策協定」を締結したことから、所重点項目においては「地方自治体との連携の推進」の取組の目標達成を最重要と考え、雇用対策協定の事業計画に基づき、以下の事業を取り組みました。

- ・ 高校生の地元就職促進の取組として、高校卒業予定者の採用を予定している地元企業 66 社と高校 3 年生 169 名との「求人求職情報交換会」を開催しました。
- ・ 高校 2 年生（進学予定者も含む）を対象に、地元企業への理解を深める機会を提供するため、企業説明会を 2 か所で開催し、進学予定者を含めた高校生 500 名が参加しました。また、企業説明会の開催前に第一部として、地元就職促進フォーラムを開催し、高校 2 年生に対して、地元企業の代表や先輩による地元企業への就職に向けたスピーチを行っていただきました。
- ・ 福祉関係支援対象者への就労支援の取組として、大館市が行う「児童扶養手当現況届特設会場」において、「出張ハローワーク！ひとり親全力サポートキャンペーン」と銘打ち、出前相談を 2 日間実施し、求人情報を提供するなどの支援を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

少子・高齢化が進展し、労働力不足が課題となっている中で、働く意欲のある高齢者が能力や経験を活かし、年齢に関わりなく働くことができる生涯現役社会を目指し、高齢者の就職促進の取組として、「生涯現役合同企業面談会」を当所で初めて開催しました。この面談会は、「生涯現役促進地域連携事業」として、国から採択され設立した「大館市高齢者活躍支援協議会」とシルバー人材センター、大館公共職業安定所等が連携して開催したものです。

結果としては、高齢者雇用に理解のある 19 企業 22 事業所と求職者 40 名が参加、9 名が就職することができました。また、55 歳以上の求職者を対象とした面談会は、県内初ということで、ケーブルテレビや新聞等報道機関 5 社にも大きく取り上げられました。

上記の少子・高齢化といった地域課題に対する高校生や高齢者に対する対策の充実のほか、日々の窓口業務においても利用者の立場にたった対応を心掛け相談・紹介等に努めた結果、求職者を対象とした利用者満足度調査は、満足度が 98.3%と前年度より 1.6 ポイント増加し、特に「満足」と評価した求職者の割合が前年度から +10.5 ポイントと大幅に増加し 83.8%（局内トップ）となり、地域の求職者から高い評価をいただきました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所管内では、人手不足の状況が継続しており、求人充足対策を強化する必要があるため、求職者の掘り起しを含めた能動的な求人・求職のマッチングを行うことでの求人の早期充足（平成 30 年度充足目標 2,300 件）に取り組むこととしております。特に、早期に再就職することを望んでいる求職者の情報を積極的に求人企業へ提供し、リクエスト紹介を含む、的確なマッチングにより紹介件数を増やす取り組みを行っていきます。

また、雇用対策協定に基づく福祉関係支援対象者への就労支援を充実させ、模擬面接・応募書類の添削等きめ細やかな支援により生活保護受給者等の就職 43 件以上の達成に取り組むほか、企業の人材確保が課題となっていることから、新規学卒者等若年者と地元企業のマッチングを支援する「求人求職情報交換会」、高校 2 年生を対象とした「企業説明会」の開催や就職後の定着等に学卒ジョブサポーターを活用し、同サポーターの支援による正社員就職 220 件の達成に取り組むこととしております。

(4) その他業務運営についての分析等

関係機関との連携により、多くの新規高卒求人を早期に確保出来たことから、就職希望の高卒者全員が内定し、社会人としてスタートしておりますが、一方で未充足求人が増加傾向にあり、求人者サービスの観点からの対応が必要となっております。生徒数自体の減少、進学率の上昇といった要因もあり完全充足は困難な状況ではありますが、平成 28 年度から地元就職促進の一環として取り組んでおります高校 2 年生を対象とした企業説明会によって、平成 29 年度は県内就職率（62.3%→68.0%）、管内就職率（56.5%→62.1%）がそれぞれ上昇する等、一定の効果も見られました。今後においても関係機関と連携を図りながら、同企業説明会並びに求人求職情報交換会を開催し、未充足求人对策と新規高卒者の地元就職促進に取り組んでまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

当所では外部講師による就職支援セミナーを開催し、雇用保険受給中の求職者の就職意欲を喚起することにより再就職の促進に努めました。
 また、正社員就職を促進するとともに人手不足業種の求人充足対策として、トライアル求人情報、建設関係求人情報、福祉関係求人情報を作成し配付するなどの支援を強化したことにより、マッチングの成功率の向上と紹介成功率の目標達成に一定の効果がありました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	学卒ジョブサ ポーター支 援による正 社員就職件 数	正社員 求人数	正社員 就職件数	
実績	2,534	2,361	577	100%	98.3%	17.6%	25.2%	71	268	4,841	1,213	
目標	2,635	2,455	540	90.0%	90.0%	19.8%	26.8%	42	230	4,941	1,235	
目標達成率	96%	96%	107%	—	—	89%	94%	169%	117%	98%	98%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大曲 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者が前年度比で 6.8%減少する中で、いかにして就職者を増やし地域の雇用拡大に寄与するかを検討した結果、求職者に対して、専任の担当者がきめ細かい相談や助言・指導を行う「求職者担当者制」による支援が最重要と考え、窓口担当相談員も含めて個別支援を積極的に実施しました。その結果、前年度を上回る 699 人を対象に支援し、うち 547 人の紹介就職に結びつけることが出来ました。

また、就職率も全体の就職率の（41.1%）を大幅に上回る 80.1%（39.0 ポイント増）の就職率を達成することができたことにより、全体の就職件数は 2,902 件と、前年度実績 2,946 件にはわずかに（▲1.5%）届かなかったものの、目標値の 2,810 件を大きく上回り目標を達成（達成率 113%）することができました。なお、求人企業説明会（ミニ面接会）も前年度実績（51 回）を超える 86 回開催し 220 人が参加するなど、人手不足感が強い企業の支援を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

窓口サービスの向上・改善のため、所長が講師となって、接遇やカウンセリング、効果的な職業相談技法などの所内研修を充実させました。また、高齢求職者が増加傾向にあるため、事業所のニーズを確認の上、求人情報提供端末に高齢者歓迎求人としてピックアップできるように改善したほか、週刊求人一覧表の充実を図るため、これまで記載のなかった「仕事の内容」等も記載するなど、求職者の方が利用しやすいよう求人情報の提供方法を改善しました。さらに、求人充足対策の一環として、人手不足が深刻となっている秋田県トラック協会と連携し、面接会を 5 回開催しており、幅広く県南地域の求職者に参加を呼び掛けるなど、業界団体のニーズに合わせた求人充足支援の充実を図ることができました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークの基本業務である窓口サービスの更なる向上のため、すべてのお客様が必ず笑顔でお帰りになるような対応を心がけ、庁舎内でお仕事の相談でお困りの方には、フロアナビが積極的にお声掛けをしてご相談に応じます。また、お客様からの指名制・予約制による職員の担当者制を充実し個別支援を強化するとともに、まだハローワークに来所したことのない、子育てを終えた女性の方や高齢者へのハローワーク利用の周知のため、市内の大型商業施設への求人情報などの資料の設置を拡充いたします。その他、各種公的職業訓練（ハロートレーニング）の周知、活用による人材育成・開発にも努めます。なお、求人者への支援についても、提出いただいた求人に関連する求職者を一覧にした「求

職者情報」を求人者に提供し、求人者からリクエストをいただいた場合には、該当求職者に対し求人情報の提供と事業所の意向を伝えて紹介を行う「リクエスト紹介」を積極的に実施し、提出された求人への早期充足と求職者への早期就職支援に努めてまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

生活保護受給者等の就職を促進するため、管内自治体との連携による就職意欲の喚起や支援会議等の開催により、求職者個々の状況や職業適性等を把握しながら就職支援に努めた結果、就職目標数を大幅に上回ることができました。また、地域ニーズの高い若年労働力の確保について、管内の自治体や商工会議所等と連携し、学卒求人の早期提出要請や新規高卒者企業説明会を開催しており、平成30年度においても関係機関と連携した取組を継続するとともに、大仙市と高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田支部と秋田労働局との雇用対策協定の締結に向けた準備を進め、若年労働者の地元就職とともに、移住・定住者の増加に向けた取り組み、障害者の雇用促進や公的職業訓練、生活保護受給者や児童扶養手当受給者への就労支援等にも積極的に取組み、雇用の拡大を図ります。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

求人充足対策の一環として、人手不足が深刻となっている秋田県トラック協会と連携し、面接会を5回開催しており、幅広く県南地域の求職者に参加を呼び掛けるなど、業界団体のニーズに合わせた求人充足支援の充実を図ることができました。

また、所重点指標である「生活保護受給者等の就職件数」においては、管内自治体との連携による就職意欲の喚起や支援会議等の開催により、求職者個々の状況や職業適性等を把握しながら就職支援に努めた結果、目標を大幅に上回ることができました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	正社員求人 数	正社員就職 件数		
実績	2,902	2,736	641	98.6%	100%	18.9%	25.1%	78	182	5,794	1,197		
目標	2,810	2,543	620	90.0%	90.0%	21.6%	25.9%	42	130	4,860	1,259		
目標達成率	103%	108%	103%	—	—	88%	97%	186%	140%	119%	95%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク本荘 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、事業主都合離職者の早期再就職を最重要と考え、特に重点的に以下の取組みを行いました。

雇用保険受給者に対する初回講習において、早期再就職のメリットや求職者に対するきめ細かい相談や助言を行う「求職者担当者制」を詳しく説明し、制度利用者への個別支援を強化した結果、求職者担当者制による紹介就職者は 378 人、就職率は 74.1%（所全体の就職率は 43.9%）と、効果的な取組みになりました。

また、雇用保険受給中の方へ希望条件に合うと思われる求人票を、認定日の 1 週間程度前に郵送し（郵送件数 527 件）、検討のうえ雇用保険認定日に来所していただき、職業相談を行う取組みを実施しました。郵送した求人票による就職者は 17 人に留まりましたが、応募しない理由等を把握することで希望条件を明確化でき、次の情報提供や紹介が効果的なものとなりました。

さらに、3 か月間の給付制限中の方全員に、あらかじめ来所日を指定して行った相談では、再就職手当や就業促進定着手当の説明と手当の早見表を提供することで、就職意欲が湧き、応募や就職に結びついたと評価をいただきました。

職業相談においては、求職者が抱える就職のための課題解決に有効な「適性検査」、「履歴書・職務経歴書の作成」及び「面接対策」等のうち、必要な就職活動支援セミナーへの参加を勧奨し（120 回開催、参加者 1,810 人）、セミナー終了後にはアンケートを記入していただくことで、職業相談窓口を利用しやすくする取組みを新たに開始しました。

平成 29 年度の雇用保険受給者の早期再就職件数は 484 件と目標の 455 件を上回り、これらの取組みは大きな成果をあげることが出来ました。

② 事業所サービスの取組

求人充足サービスとして、企業説明会及び面接会を 38 回開催し（前年度 30 回）、27 人（前年度 18 人）の就職が決まりましたが、この取組みは、求人事業所のほか参加求職者からも事業の継続を要望されています。

③ 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員を所内の他部門（紹介部門・企画開発部門）に配置し、研修を実施しました。加えて、職業相談の専門性の向上を図るため、キャリア・コンサルタント資格取得を目指した研修に職員 2 名が参加しました。

また、事業所の詳細な情報を収集することにより、職業相談の充実を図るため、紹介部門・企画開発部門全職員が事業所訪問（訪問事業所延べ 185 事業所）を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

満足度調査では、当ハローワークを利用された求人者及び求職者の皆様から目標と前年度実績を上回る高評価をいただきました。

同調査で求人者の方から要望が多かった求人提出後のアドバイス等については、職業相談を通じ把握した求職者の希望条件や、求人担当者と紹介担当者の打ち合わせ会議での意見を踏まえ、ミスマッチの解消を図るための求人条件緩和等の提案に取り組みました。

また、高年齢求職者からの「求人票や求人情報等の文字を大きくしてほしい。」との要望に対しては、求人情報を A 4 から B 4 に拡大する改善を行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人担当者と紹介担当者の打ち合わせ会議は、開催回数が少なかったため、毎週 1 回、新要綱に基づき受理後 2 週間未紹介となっている求人を重点に支援方法を検討し、未紹介求人の解消を図ります。

さらに、求人条件緩和に応じた求人については、条件緩和後に当ハローワークが求人充足のために取り組んだ対策等を求人者へ説明するなどフォローアップの充実を図ります。

また、自治体の要望が強い新規高卒者の県内就職を促進するため、自治体等と連携し、高校 2 年生やその保護者及び教師を対象に「企業説明会」の学校単位での開催等を強化することにより、地元企業の理解促進を図ります。

（4）その他業務運営についての分析等

①生活保護受給者等については、由利本荘市・にかほ市と連携を密にし、支援会議や巡回相談等により就職支援に努めました。担当者による巡回相談は 33 回実施しており、支援者の課題を的確に把握し、課題解決のためのきめ細かな支援により就職件数 80 件となり、目標（42 人）を大きく上回りました。

②地方自治体等との連携においては、由利地域振興局、由利本荘市、にかほ市、雇用創造協議会等とは年間を通じて連携を図っており、地域課題の解決に向けた就職面接会、各種要請行動、新規高卒者情報交換会等イベントに積極的に取り組みました。

③障害者雇用の促進については、就職件数が 75 件と目標の 68 件を上回ったほか、雇用率達成指導により未達成企業 20 社中 11 社が達成しました。これにより達成企業割合は 8 割を超え、全県最下位から全県トップクラスとなりました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

求人情報提供端末の操作が不慣れな方に対する支援「求人マイコーチ」を新たに開始し、端末利用後の 61 人を相談窓口において職業相談のうえ、6 人を紹介、うち 5 人の就職が決定しました。

求職者が自己理解を深め、自身のアピールポイントを見つけ出すために有効な手段とされる「ジョブカード」の作成を積極的に支援し、就職に結びつけました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	正社員求人 数	正社員就職 数		
実績	1,908	1,570	484	100%	94.9%	20.3%	23.4%	80	3,583	963		
目標	2,100	1,735	455	90.0%	90.0%	24.7%	25.6%	42	3,250	874		
目標達成率	91%	90%	106%	—	—	82%	91%	190%	110%	110%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク横手 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

横手市の総人口は、平成 29 年 3 月末現在、92,422 人で 10 年前と比較し 11.5%(12,046 人)減少、生産年齢人口（15 歳～64 歳）においても、49,864 人で 10 年前と比較し 18.6%(11,357 人)減少しており、さらに年少人口（0 歳～14 歳）の減少と老年人口（65 歳～）の増加を反映し、ハローワーク横手を利用する新規の求職者（仕事探しの登録者）数の減少により、職業相談件数、紹介件数、就職件数も比例して年々減少の一途を辿っている。このため、各自治体等の関係機関、各施設の求人情報コーナーにハローワーク利用案内を掲示するなどの求職者の掘り起こしと同時に、より充実した職業相談による紹介件数及び就職件数への反映に重点を置き、受付窓口でのサービス案内、システム利用者への相談誘導、館内アナウンスによる窓口利用促進を行うとともに、求職者担当者制（求職者を特定の職員が継続的に担当する）により、求人情報の提供と応募できない理由を調査・分析し、次回以降の相談等へ反映する一方、紹介部門職員は求人内容を添削のうえ、求人者へ内容改善をアピールし、紹介の強化に努めた結果、就職件数は 2,143 件(目標達成率 103.8%)、求人充足件数は 2,160 件(目標達成率 106.4%)、雇用保険受給者の早期再就職件数（雇用保険受給可能日数を 2 / 3 以上残して就職した件数）は 484 件(目標達成率 113.9%)でハローワーク横手が重点目標とした項目すべてを達成することが出来ました。また、平成 30 年 4 月からの障害者法定雇用率の引き上げ（民間企業：2.0%→2.2%）に向けて、障害者雇用の推進を図るため、当所の重点指標を「障害者の就職件数」とし、就労移行支援事業所、障害者関係機関と連携を強化するとともに、隣接するハローワーク湯沢・大曲と合同での障害者面接会や所単独のミニ面接会も積極的に開催した結果、平成 29 年度は 80 人（昨年度 73 人）の障害者が就職しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

毎年求人者や求職者の皆様にご協力いただいている、ハローワーク利用者満足度調査については、求人者満足度 98.0%、求職者満足度 99.1%と目標数 90%を大幅に上回っておりますが、「まあ満足」の割合が高く、「満足」のみの割合を高めるため、面談時における接遇は元より、求人充足及び就職支援までの一連の支援について、さらなる資質の向上に努めました。

また、積極的な求人と求職のマッチングを実施するために、次の事項を積極的に取り組みました。

- ① 求人情報提供者が応募を希望しない理由の把握・分析を行い、求人を充足させるための会議等での検討を経て、事業所訪問等による求人条件見直しの提案・助言を行いました。

- ② 11月から、求職者の意向を把握している紹介職員が、求人受領後2週間以上紹介実績がない求人31件を添削し、求人事業所を訪問のうえ求人条件緩和に関する提案・助言に取り組みました。
- ③ 雇用保険を受給している方の紹介件数の増加にむけて、紹介担当職員が個別支援をしている方を中心に、雇用保険認定日の1週間前にマッチングした求人情報を提供し、認定日当日に応募意向の確認をするなど、就職意欲の喚起を図った(送付件数:178件、紹介件数:27件)ほか、自己都合で退職し3か月雇用保険の給付が制限される方への呼出相談なども積極的に展開しました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の減少に歯止めがかからない状況の中で、平成29年度取り組んだ窓口への誘導、求職者担当者制、求人情報の提供と応募できない理由の調査・分析、紹介担当職員の求人添削による求人者への内容改善アピールについて検証しながら継続し、紹介件数、就職件数、充足数の増加に結び付けます。

特に、求職者の約21%を占める60歳以上の高齢者に対する就職支援が重要であり、高齢者雇用に理解をいただいた事業所及び求人を一覧化し、求職者への情報提供に活用するとともに、求職者担当者制の対象者に60歳以上の求職者を常時1人以上選定し、積極的に支援していくことにより、求人者の人手不足感の解消を図ります。

さらに、平成29年6月1日現在の障害者法定雇用率未達成企業18社のうち5社は解消され、平成30年6月1日現在の雇用率未達成企業数は法定雇用率の改正に伴い20社程度見込まれることから、所長による直接指導及び関係機関と連携したチーム支援を展開し3社の雇用率達成と、全員参加型社会の実現に向け、年間80人以上の障害者雇用を実現します。

(4) その他業務運営についての分析等

- ①生活保護受給者等の就職支援のため、地方自治体との協議会の開催、個別のケース会議の実施、毎月の巡回相談など連携を図り、支援対象者の課題把握と各種支援により、就職件数は53件(目標達成率126.2%)となり目標を達成しました。
- ②医療・福祉・建設等人手不足分野の充足促進のため、合同就職面接会への参加勧奨により17社/52社が参加し、相談・応募者は6人/43人、また、所内の会社説明会&面接会には3社/15社が参加し、相談・応募者は5人/159人であったことから、参加者の拡大と当該分野の求人条件緩和指導に努める必要があります。
- ④少子高齢化の進展による地域の人口減少に歯止めをかける目的で、新規学卒者の県内就職促進のため、地方自治体・地域振興局・高校校長会と連携し、商工団体・管内主要企業に対する求人要請、企業の業務内容説明会、就職面接会を開催するとともに、高校2年生を対象に地元企業説明と若手先輩社員からのメッセージによる「横手のスゴイ企業発見!! ガイダンス」を開催し、地元就職促進に努めました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対す る紹介率	求職に対す る紹介率	正社員 就職件数	正社員 求人数	障害者の就 職件数		
実績	2,143	2,160	484	(98.0%)	(99.1%)	35.2%	23.0%	27.5%	924	3,512	80		
目標	2,065	2,030	425	90.0%	90.0%	32.2%	26.1%	29.2%	846	3,370	73		
目標達成率	104%	106%	114%			109%	88%	94%	109%	104%	110%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク湯沢 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所管内では、求人数が平成 27 年度から平成 28 年度にかけて 3.5%増加した一方、求職者数は 16.6%減少し、人手不足感が強い労働市場となっており、平成 29 年度も同様の状態で推移すると見込まれたところから、就職までの支援を同じ職員がマンツーマンで継続的に行う「求職者担当者制」に積極的に取り組みました。「求職者担当者制」は、求職者に対する就職支援に止まらず求人の充足支援においても最重要と考え、紹介窓口を担当とする 4 名の職員により、各自年間延べ 60 名以上の対象者を支援することとし、その就職率は湯沢所全体の新規就職率以上と目標を設定して取り組みました。その結果、支援対象者数は目標比 152.1%（125 名増）となり、就職率も 66.7%と所全体の新規就職率 44.2%を 22.7P 上回ることができました。また、同じ職員が就職まで一貫した「求職者担当者制」は求職者の皆様からも高い評価をいただいています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、若手職員等の中長期的な育成を図る観点から、職業紹介業務に係る研修を 1 回、労働基準監督署職員に講師を依頼し労働基準法に係る研修を 1 回実施したほか、業務経験と知識豊富な再任用職員を講師とした研修を 1 回実施しました。

また、事業所との良好な関係構築と対応能力等を向上させるため、求人開拓をメインとした職員による事業所訪問を積極的に行い、延べ 117 事業所を訪問し、求人の確保と事業所への各種施策の周知等を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

人手不足に悩む事業所の労働力確保と、併せて高齢者の就職ニーズに対応するため、「高齢者の応募を歓迎する求人」を確保して、求人情報の発信に努めました。具体的には、職員による事業所訪問を行い、65 歳を意識した 60 歳以上の方の応募を歓迎する求人を獲得し、求人情報を検索する端末から利用者が容易に取得できるようにしたほか、月 2 回の求人情報紙の発行及び、湯沢市ホームページへの掲載を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成 29 年度を総括すると、取組んだ事項や方向性は継続すべきものと考えていますが、各取組に具体性が不足していたために、目標管理が的確に機能していなかった面も見受けられました。

このため、平成 30 年度においても、「求職者担当者制」による就職支援を中心に取組んでいくこととしますが、支援を実施する担当者間で支援対象者数や取組内容等に差異を生じさせないように、支援対象者の具体化及び目標数を設定し、取組を統括する部門長による指導・助言を含めた進捗管理を的確に行い、年間 168 件の就職を目指します。また、紹介件数が減少していることから、新規求職登録後 1 か月以上紹介実績のない求職者の窓口相談誘導件数を年間 180 件に、また、求人情報提供後の紹介率を 30% に目標を設定して取組むことにより年間 96 件の就職を目指します。

求人者支援においては、求人への紹介率や充足件数（率）が低迷していることから、担当者による継続的支援を行う「求人担当者制」を活用した未紹介求人への支援内容をより具体化させ、実行ある目標を設定して取組むことにより求人への紹介率を 30% に、また、開拓した正社員求人へのフォローアップとして年間 200 件の紹介と 80 件の充足を目指します。加えて、建設・介護等人手不足分野の求人への対応として、求人情報を求職者に提供した後の紹介率を 30%、当該分野の企業説明会兼面接会を年 6 回開催することを目指します。

(4) その他業務運営についての分析等

- ① 新規高校卒業者等若年労働力を確保するため、雄勝地域振興局と連携をして、湯沢商工会議所等経営者団体に対しての新規学卒求人の早期退出依頼や企業説明を開催しました。また、当所学卒ジョブサポーターによる個別の就職支援により、就職内定率は 100% を達成しました。
- ② 生活保護受給者等に対する就労促進は、管内自治体において重要な課題となっているため、自治体と一体となって就労支援に取り組んだ結果、目標としていた就職件数 42 件に対して 75 件の就職実績を上げることが出来ました。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	正社員求人	正社員就職		
実績	1,235	960	290	98.7%	97.1%	20.0%	25.9%	75	2,205	595		
目標	1,305	1,047	350	90.0%	90.0%	23.6%	27.3%	42	1,950	560		
目標達成率	95%	92%	83%	—	—	85%	95%	179%	113%	106%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク鹿角 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所管内は、求人が増加する一方で求職者が減少し、平成 29 年度の有効求人倍率が 1.57 倍と人手不足の状況が続いていることから、就職件数、充足件数の目標達成を最重要と考え、特に未充足求人事業所を対象とする会社説明会・ミニ面接会の実施に積極的に取り組みました。

会社説明会・ミニ面接会は、前年より 19 回多い 46 回の開催で参加求職者 256 名（前年より 47 名増）、就職者数 42 名（前年より 15 名増）となっています。

その結果、前年度実績比較では就職件数▲116 件（▲13.0%）、充足件数▲99 件（▲12.8%）となり、新規求職者の減少率（▲11.6%）をやや上回ったものの、平成 29 年度目標の達成割合は、就職件数 92%、充足件数 93%と 90%を超える達成割合となりました。

また、新規高卒者の就職対策については、地元自治体のニーズが高いことから学卒ジョブサポーターによる支援を積極的に行うなど重点的に取り組んだ結果、正社員就職が 42 件となり、目標の 30 件以上を達成しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

人手不足の状況が続いている中、特に未充足求人对策の一環として、職業相談窓口を担当する職員が積極的に求人事業所を訪問することで、直接求人者のニーズを把握し、より正確な求人情報を求職者に提供することに取り組みました。

また、求人者が来所した際は、可能な限り職業相談窓口の担当者も同席し、求職者の動向やニーズを伝えるとともに求人要件の緩和を提案することに取り組みました。

その結果、平成 29 年度のハローワーク利用者満足度調査において、求人者の満足度 100%、求職者の満足度 99.0%と高い評価をいただきました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人担当者と職業相談担当者との連携は、ハローワーク利用者の満足度が高まることに加え担当者のスキルアップにもつながることから、今後も継続して取り組みます。人手不足の状況は現在も続いていることから、職員による事業所訪問の回数を増やし、特に高年齢者や子育て中の女性等の求職者情報を求人者に提供するとともに、求職者の態様に応じた求人条件の緩和や雇用管理の改善提案を行います。（職員によ

る事業所訪問件数 目標 20 件) 自治体等と連携した就職支援セミナーや合同就職面接会を開催することで、求職者の就職機会の確保のみならず求人者の人手不足の解消を図るなど求人・求職のマッチングを強化します。若年者の地元就職と地元企業の人材確保支援は地域の自治体にとっても重点課題となっていることから、平成 30 年度は学卒ジョブサポーターを活用した既卒 3 年以内未就職者の把握、学校への管内企業情報の提供、企業訪問による新卒者の職場定着等に取り組むことで、同サポーターの支援による正社員就職 50 件の達成を目指します。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 29 年度は求人・求職のマッチングを図るため自治体や関係団体等と連携した「鹿角市介護の仕事フェア (参加事業所 10 社、求職者 16 名、うち就職者 2 名)」、「高校生地元就職情報交換会 (参加事業所 57 社、高校教諭・高校生 98 名)」などの事業に取り組みました。求職者の掘り起こしや職業紹介件数を増やし求人・求職のマッチングを図るには、これら管内自治体等と連携した取り組みが有効であることから、これらの取り組みを継続します。特に平成 30 年 2 月には秋田労働局と鹿角市において雇用対策協定を締結したことから、平成 30 年度は本協定に基づく就職支援の取り組みを強化します。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	学卒ジョブサポーター 支援による正社員就 職件数
実績	773	673	165	100.0%	99.0%	13.9%	23.2%	1,726	315	42
目標	840	720	170	90.0%	90.0%	16.7%	24.7%	1,780	320	32
目標達成率	92%	93%	97%	—	—	83%	94%	97%	98%	131%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率